

第 57 回全国高等専門学校体育大会(柔道競技)における 新型コロナウイルス感染拡大防止に関するガイドライン

令和 4 年 7 月 6 日現在

1. 大会を開催するにあたって

大会の開催に際しては、全ての参加者個人が、感染予防対策を確実に実行することを感染防止の基本とする。

(1) 大会 7 日前及び大会後 7 日間において、各自、体調管理を行い、健康記録表を用い、記録しておくこと。大会期間中又は大会後にクラスター等が発生した場合、保健所等の指示により提出を求められる場合があることを認識しておくこと。

(2) 監督(指導者)は、チーム関係者(選手、部員、マネージャー、コーチ、引率者、監督(指導者)、保護者等の観客)の健康状態を把握し、次の事項に該当するチーム関係者の大会及び試合への参加を見合わせること。

- ・体温が 37.5 度以上又は体調不良(鼻水、咳・咽頭痛、味覚・嗅覚障害、倦怠感等の症状)がある。

- ・保健所又は各校において、濃厚接触者と判断されたもの。

保健所から濃厚接触者と認められた場合、7 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていないものは除く。また、陽性者との最終接触日から 4 日目及び 5 日目の抗原検査で陰性であった場合は、健康観察期間を 5 日間とする。

- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる人がいる。

- ・過去 10 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。

- ・大会開催日の 14 日前の時点もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していたもの。ただし、次の A. 及び B. の両方の条件を満たしている場合、大会への出場を認める。

- A. 感染疑い症状の発症後に少なくとも 7 日が経過している(7 日が経過している：発症日を 0 日として 7 日間のこと)。

- B. 薬剤を服用していない状態で、解熱後及び症状消失後に少なくとも 3 日が経過している(3 日が経過している：解熱日・症状消失日を 0 日として 3 日間のこと)。

(3) 大会期間中に発熱等が見られた場合は大会本部に速やかに届け出るとともに、医療機関の受診や帰宅させる等適切な対応を各校で行うこと。状況により大会本部にて個室の隔離を行う場合もある。

(4) 大会終了後、7 日以内に大会に参加したチーム関係者で、感染者又は感染を疑われる人(濃厚接触者)が確認された場合は、速やかに競技開催校(香川高等専門学校高松キャンパス：087-869-3833)に連絡すること。

(5) チーム関係者は、感染者又は感染を疑われる人(濃厚接触者)が確認された場合、保健所等の聞き取りに協力すること。

2. 大会中の具体的な感染症対策及び健康記録表の扱い

- (1) 大会受付時及び入場時には、全員マスク着用で検温、手指消毒を行い、各校の監督(指導者)が全員分の「健康記録表(大会前)及び同意書」(別紙1)を受付に提出し、確認を受けること。
- (2) 保護者等で、学校と別行動で入場する場合は、それぞれ入場時に「健康記録表(大会前)及び同意書」(別紙1)を受付に提出し、確認を受けること。
- (3) 入場時に提出する健康記録表等の種類について

- ・ 前日練習(8/26(金))に参加の場合は、「健康記録表(大会前)及び同意書」(別紙1)の健康記録表に“前日”までの状況を記入した状態で会場受付に提出すること。確認を受けた後、返却するので、試合当日の記録を追記し、署名の上、試合日初日に提出すること。
- ・ 1日目(8/27(土))の団体戦のみ参加の場合は、「健康記録表(大会前)及び同意書」(別紙1)のみ提出すること。
- ・ 2日目(8/28(日))の個人戦のみ参加の場合は、「健康記録表(大会前)及び同意書」(別紙1)のみ提出すること。
- ・ 両日とも参加の場合は、1日目に「健康記録表(大会前)及び同意書」(別紙1)を提出し、2日目は「健康観察表(2日目以降)」(別紙2)を提出すること。

- (4) 大会終了後は「健康記録表(大会後)」(別紙3)を全員作成し、1ヶ月間各自で保管すること。

別紙1、2の健康記録表は、大会本部にて1ヶ月間個人情報漏洩しないよう厳重に保管し、保管期間終了後は確実にシュレッダーで破棄する。

- (5) 選手の新型コロナウイルス感染症対策の観点での試合参加の可否の基準は以下とする。

7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	当日
記録							入場日
開始							試合
×2日以上発熱 ¹⁾ ・諸症状 ²⁾ あり				×1日でも発熱 ¹⁾ ・諸症状 ²⁾ あり			
×健康記録表及び同意書を提出しない							

1) 発熱の基準は、37.5度以上とする。

2) 健康記録表及び同意書に記載されている症状

根拠：全日本柔道連盟新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針
(Version-6)p. 35をベースに全国高等専門学校柔道専門部にて審議決定

- (6) 大会移動前において以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

- ・ 体調がよくない場合(例：発熱、鼻水、咳・咽頭痛、味覚・嗅覚障害、倦怠感等の症状)
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・ 過去10日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- (7) 団体戦においては、当該試合の監督・コーチ・指導者(引率者)・選手・マネージャー及び次試合の監督・コーチ・指導者(引率者)・選手・マネージャーのみ試合会場(アリーナ)に入場することができる。次試合の監督・コーチ・指導者(引率者)・選手・マネージャーは次試合待機場所で待機すること。
- 個人戦においては、試合会場には監督・コーチ・指導者(引率者)・選手・マネージャーのみ入場することができる。各自、十分な距離を確保すること。
- (8) 試合会場への入場及び退場は指定された入口から行うこと。試合会場への入退場時には十分な距離を確保し、手指消毒を行うこと。
- (9) 畳に上がる前後には手指消毒及び消毒マットにて足を十分に消毒し、ウォーミングアップ時、試合時以外はマスクを着用すること。個人のマスクの管理は各自でビニール袋等を準備して外す時にはその中に保管し、他者の直接接触がないように努めること。
- (10) 大会期間中は試合会場及び観客席とも全員マスクを着用し、こまめな手洗い、アルコールによる手指消毒を実施すること。
- (11) 選手間、他の参加者、大会スタッフ等の距離をとること(1~2m)。
- (12) 大会会場及びその周辺で大きな声で指示、会話、応援をしないこと。
- (13) タオル・水筒をはじめとする用具を他の人と共有しないこと。
- (14) 飲食は指定の場所以外で行わず、距離を取り、対面を避け会話は控えめにすること。
- (15) 感染防止のため、大会会場及び競技開催校が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (16) 観客は制限しないが、なるべく少人数となるようにすること。各校にて大会に参加した応援学生、保護者等を把握し、連絡確認がとれるようにしておくこと。
- (17) 大会中に感染予防措置を遵守できない参加者は、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会本部より注意を行い、なお改善が見られない場合には、参加の取り消しや、途中退場を求めることがある。
- (18) 感染状況の変化により上記(1)~(17)の内容について、変更や追加がある場合は別途連絡する内容に従うこと。

3. 体調不良者発生時の対応について

- (1) 監督(指導者)は、入場・受付時に体調不良又は症状が確認される者については、大会本部に報告及び保護者等に連絡した上で、速やかな帰宅を促し、各自医療機関を受診するよう伝えること。
- (2) 監督(指導者)は、試合中に体調不良又は症状が確認される者を確認した場合、速やかに大会本部に報告すること。大会本部は人との接触を最小限にできる場所へ体調不良者を移動させ、監督(指導者)を通じて保護者等に連絡し、速やかな帰宅を促すと共に、各自医療機関を受診するよう伝える。

4. 柔道衣コントロールについて

(1) 柔道衣コントロール

団体戦出場選手については開会式後に整列の状態では審判員が目視で確認を行う。個人戦に関しては試合開始前に階級ごとに整列し、審判員が目視で確認を行う。

また、試合開始後に疑義が生じた場合は審判員が測定器具を用いて検査を行い規格に不適合と判断された場合は、試合開始前の検査の結果に関わらず「失格」となることを理解の上、選手・監督は責任をもって規格に適合しているか、事前に確認すること。

(2) 赤白帯試合をする際の赤白を示す赤白の帯について、開催校にて準備を行う。ただし、新型コロナウイルス感染防止の観点から、各校で準備可能な場合は持参していただくことが望ましい。

5. 観客への対応について

(1) 手指消毒を徹底し、マスクを必ず常時着用すること。

(2) 体調不良(例：発熱、鼻水、咳・咽頭痛、味覚・嗅覚障害、倦怠感等の症状)のある観客の来場は来場を見合わせる。同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいないか常に確認し、確認された場合も来場を見合わせる。

(3) 隣席の観客との距離を十分確保すること。

(4) 大会会場に向け自宅等を出発する前に検温を行い、また大会会場入場時は体温測定と手指消毒を行うこと。その他、大会本部からの質問があった場合は、応答すること。

(5) 観客は観覧席での観覧のみとし、試合会場のアリーナには立ち入らないこと。

(6) 大声での指示、声援、掛け声、会話は控えること。

6. その他

(1) 試合会場内での水分補給以外の飲食は禁止とする。アリーナ内以外での飲食も極力控えるよう奨励するが、飲食する際は、周囲の人となるべく距離をとり、対面を避け会話を控えるとともに、飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用し、共用はしないこと。

(2) 試合会場は、定期的に畳・監督選手席・その他大会用備品等の消毒を行う。

(3) 各自が責任をもってごみの持ち帰りを行うことを呼びかける。

(4) 各自の靴袋を大会本部で用意し、各校に指定された観覧席で靴の管理を行う。

(5) 各校が使用した観覧席は、各校で消毒を行う。

(6) 館内は、定期的に換気を図る(外気を取り入れる空調設備完備)。

(7) スマートフォン利用者については、原則として、事前に厚生労働省の「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」をインストールの上、利用することを推奨する。

以上

第57回全国高等専門学校体育大会柔道競技

健康記録表(大会前)及び同意書

別紙1

注意：本用紙は会場到着初日に受付に提出し、確認を受けてください。

区分	(ブルダウン)	出場する階級	(ブルダウン)
所属		氏名	
チーム責任者(監督)		連絡先(携帯等)	
責任者連絡先(携帯等)		責任者のみ記載	

◎ 下記の健康状態について、自身で下記症状の有無について記載してください。(練習直前又は当日朝に記入)

	7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	前日	当日
月日(曜日)								
体温								
強いだるさ								
息苦しさ								
のどの痛み								
くしゃみ								
咳・たん								
味覚・嗅覚の変化								
その他 (嘔吐・腹痛・下痢等)								

- 私は、この健康記録表の記載内容に虚偽がないことを誓います。
また、今大会に於ける新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するガイドラインを遵守することに同意します。

氏名(自署)：

- 上記選手及び関係者の健康状態に問題はありません。
また、今大会に於ける新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するガイドラインを遵守することに同意します。

チーム責任者サイン：

※ 1か月以内に海外渡航歴がある場合は、渡航先(滞在地・経由地)を記載のこと。

日付：

渡航先：

第57回全国高等専門学校体育大会柔道競技

健康記録表(大会前)及び同意書

別紙1

該当する区分を選択してください。		選手は出場する階級を選択して入力してください。	
区分	選手 (ブルダウン)	出場する階級	60kg級 (ブルダウン)
所属	香川高専高松	氏名	柔道 次郎
チーム責任者(監督)	柔道 太郎	連絡先(携帯等)	090-3333-4444
責任者連絡先(携帯等)	090-5555-6666	責任者のみ記載	

◎ 下記の健康状態について、自身で下記症状の有無について記載してください。(練習直前又は当日朝に記入)

月日(曜日)	7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	大会/計量日
体温	35.5度							
強いだるさ	なし							
息苦しさ	なし	2日以上発熱・諸症状がある場合は入場不可			1日でも発熱・諸症状がある場合は入場不可			
のどの痛み	あり							
くしゃみ	なし							
咳・たん	なし							
味覚・嗅覚の変化	なし	記載以外の自覚症状があれば入力してください。						
その他 (嘔吐・腹痛・下痢等)	なし							

- 私は、この健康記録表の記載内容に虚偽がないことを誓います。
また、今大会に於ける新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するガイドラインを遵守することに同意します。

氏名(自署)：

提出者本人の署名(必須)

- 上記選手及び関係者の健康状態に問題はありません。
また、今大会に於ける新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するガイドラインを遵守することに同意します。

チーム責任者サイン：

チームに在籍する場合は、責任者の署名が必要。

※ 1か月以内に海外渡航歴がある場合は、渡航先(滞在地・経由地)を記載のこと。

日付：

渡航先：

第57回全国高等専門学校体育大会柔道競技

健康観察表(2日目以降)

別紙2

令和 4年 8月 日

氏名

所属

連絡先(携帯等)

↓該当に○

37.5°C以上の発熱	有・無
強いだるさ	有・無
息苦しさ	有・無
のどの痛み	有・無
くしゃみ	有・無
咳・たん	有・無
味覚・嗅覚の変化	有・無
嘔吐・腹痛・下痢等	有・無

※大会 2 日目以降、受付にて提出すること

第57回全国高等専門学校体育大会柔道競技

健康記録表(大会後)

別紙3

大会参加者は大会終了日及び大会後7日間、健康記録をつけてください。

区分		(プルダウン)	出場した階級		(プルダウン)
所属			氏名		
チーム責任者(監督)			連絡先(携帯等)		

◎ 下記の健康状態について、自身で下記症状の有無について記載してください。(練習直前又は朝に記入)

	大会終了日	1日後	2日後	3日後	4日後	5日後	6日後	7日後
月日(曜日)								
体温								
強いだるさ								
息苦しさ								
のどの痛み								
くしゃみ								
咳・たん								
味覚・嗅覚の変化								
その他 (嘔吐・腹痛・下痢等)								

● 私は、この健康記録表の記載内容に虚偽がないことを誓います。

氏名(自署)：

本様式は、大会後に感染等が確認された場合、大会本部、保健所や各校での確認に用います。
提出の要請がありましたら、署名の上、すみやかに指示のあった機関に提出をお願いします。
7日間記録後、各自で1ヶ月保管し、その後、各自にて破棄いただきますよう、お願いします。

第57回全国高等専門学校体育大会柔道競技

健康記録表(大会後)

別紙3

大会参加者は大会終了後7日間健康記録表を提出してください。選手は出場した階級等を選択して入力してください。

区分	選手 (ブルダウン)	出場した階級	60kg級 (ブルダウン)
所属	香川高専高松	氏名	柔道 次郎
チーム責任者(監督)	柔道 太郎	連絡先(携帯等)	090-3333-4444

◎ 下記の健康状態について、自身で下記症状の有無について記載してください。(練習直前又は朝に記入)

	大会終了日	1日後	2日後	3日後	4日後	5日後	6日後	7日後
月日(曜日)								
体温	35.5度							
強いだるさ	なし							
息苦しさ	なし							
のどの痛み	あり							
くしゃみ	なし							
咳・たん	なし							
味覚・嗅覚の変化	なし							
その他 (嘔吐・腹痛・下痢等)	なし							

● 私は、この健康記録表の記載内容に虚偽がないことを誓います。

氏名(自署):

提出時本人の署名(必須)

本様式は、大会後に感染等が確認された場合、大会本部、保健所や各校での確認に用います。提出の要請がありましたら、署名の上、すみやかに指示のあった機関に提出をお願いします。7日間記録後、各自で1ヶ月保管し、その後、各自にて破棄いただきますよう、お願いします。